

# 平成29年度 在宅医療・介護連携推進事業 受託法人 取組み状況

受託法人 ウエオ		24区(濃:H28.8~実施区)																						集約			
		北	都島	福島	此花	中央	西	港	大正	天王寺	浪速	西淀川	淀川	東淀川	東成	生野	旭	城東	鶴見	阿倍野	住之江	住吉	東住吉	平野	西成		
ウ	切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制 (ウ)に関連する取組の実施状況について、該当する選択肢番号を入力してください。 1. H28年度以前に実施している 2. H29年度に実施している 3. H30年度に実施予定 4. 現時点では未着手	1. 区民が必要とする切れ目のない在宅医療・介護のサービス提供体制のニーズ、あり方の検討	1	1	2	2	1	1	2	1	2	1	2	1	2	2	1	2	1	3	2	1	2	2	3	2	1. 10区 2. 12区 3. 2区 4. 0区
		2. 主治医・副主治医制の導入・推進に向けた取組	4	1	3	2	3	4	4	1	4	1	2	4	3	4	3	3	1	4	4	4	3	4	4	4	1. 4区 2. 2区 3. 6区 4. 12区
		3. 在宅療養中の利用者の急変時診療医療機関や後方病床の確保に向けた取組	1	1	2	2	1	2	4	1	2	1	2	4	2	2	1	3	1	1	2	1	3	2	4	3	1. 9区 2. 9区 3. 3区 4. 3区
		4. 訪問診療・往診を提供する医療機関と訪問看護St.との連携体制構築への取組	1	1	2	1	1	2	4	1	2	1	2	1	2	2	2	1	1	1	3	1	3	2	4	2	1. 11区 2. 9区 3. 2区 4. 2区
		5. その他(ウ)に該当すると思われる取組 (具体的に記載)	ケアマネジャーへのアンケートを実施し、連携の必要性を明確にした。	がんサロン、町の保健室の検討	—	ICTのモバイルを持つ事業所が増え医療・介護従事者の連携が取れつつある。夜間・休日のバックアップシステムは確立できた。	近隣区を含めた病院や事業所訪問。関連する団体事業所との"連携する会"の定着	在宅医療推進会議(年3回)在宅医療連絡部会(年4回)	三師会合同の研修会	—	府コーディネーターとして平成29年度に病病連携、病診連携は実施	ブルーカードシステム Aケアアカドシステム 在宅ネットワークシステムが医師会で実施されている。	①在宅診療チームでの事例検討月1回 ②病診連携のための討議会	—	※1	区内病院連絡会にて主治医、長期休暇時のサポート体制構築、定期的な病院、診療所、訪問看護ステーションでの実施	病院と医師会の研修会を開催。多職種が参加できるICT事業を医師会が実施	在宅医療・介護連携推進会議の立ち上げ、開催(4回/年)	医-介護連携としてネットワーク会議とワーキンググループ活動で連携。薬剤師会・訪問看護ステーションとケアマネの研修を実施	区内の薬局に関する在宅支援に向けた取組	区内病診連携を作り開く。	マップは区役所事業にて改訂済み(作成協力)。SNS普及は医師会員約8割に導入した。リストは改訂検討中。	医介護連携推進にイベント等の企画運営に携わる。病院や包括で活動報告などの告知、講演を行なう。ワールドカフェでの意見集約など	区内・近隣区病診連携の会の開催(病一診連携)	在宅かかりつけ医交流会(診一診連携)	医療と介護の連携の会の開催(医一介護連携)	—
※1 上記の取組み以外に ・区内4病院と近隣2病院との病診連携協議会 ・淀川区医師会との在宅医療連携協議会 ・医師会、薬剤師会と訪問看護連絡会との在宅医療連携会 ・居宅介護支援事業所と医師会との合同研修会 ・歯科医師会と共催で介護職のための研修会開催		・区内4病院と近隣2病院の地域連携室との在宅医療連携を考える会 ・担当理事と区外の5病院を訪問し、情報交換を行った。 ・医師会、薬剤師会、6病院勤務医へのアンケート調査 ・訪問看護連絡会と居宅介護支援事業所との合同研修会																									
エ	医療・介護関係者の情報共有の支援の取組状況について (エ)に関連する取組の実施状況 1. H28年度以前に実施している 2. H29年度に実施している 3. H30年度に実施予定 4. 現時点では未着手	1. 医療・介護関係者間で共有すべき情報や情報共有のニーズ、共有方法の検討	1	2	2	1	3	2	2	1	2	1	2	2	2	2	1	1	2	3	3	1	2	2	3	2	1. 7区 2. 13区 3. 4区 4. 0区
		2. 現在使用されている情報共有ツールやその活用状況の確認	2	1	2	1	2	2	2	1	2	1	2	3	2	2	1	1	2	4	2	1	2	2	2	2	1. 7区 2. 15区 3. 1区 4. 1区
		3. 地域で充実又は作成すべき情報共有ツールの検討	2	2	3	1	3	1	2	1	4	1	2	2	2	2	4	1	3	3	3	1	2	2	4	3	1. 6区 2. 9区 3. 6区 4. 3区
		4. 情報共有ツールの導入や利用促進	3	3	3	1	3	2	2	1	4	1	3	2	2	2	1	3	3	4	3	1	2	3	2	4	1. 5区 2. 7区 3. 9区 4. 3区
		5. 4で導入した情報共有ツールの活用状況や効果についての評価や改善	4	4	4	1	3	2	4	4	4	4	1	3	3	3	1	2	3	4	4	3	2	3	3	2	4
6. その他(エ)に該当すると思われる取組 (下欄に具体的に記載)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	Aケアアカドシステム	ケアマネと急性期病院での退院支援研修を開催している。	—	「こぶしネット情報共有シート」、介護申請予診票、医療・介護連携シート作成 ・在宅医療連携推進ハンドブック、訪問看護ステーション利用パンフレットの更新	—	—	—	連携を含む各医療機関情報を掲載したガイドブックを病院・介護関係者に配布	—	既存シートの見直し、情報共有するための必要な情報の検討	SNS普及は医師会員約8割に導入した。リストは改訂検討中	—	—	—	—		
オ	在宅医療・介護連携に関する相談支援の取組状況について (オ)に関連する取組の実施状況 1. H28年度以前に実施している 2. H29年度に実施している 3. H30年度に実施予定 4. 現時点では未着手	1. 在宅医療・介護連携を支援する相談窓口のニーズの確認	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1. 21区 2. 3区 3. 0区 4. 0区	
		2. 相談窓口(相談員)の設置・運営	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1. 21区 2. 3区 3. 0区 4. 0区
		3. 相談受付・支援する人材の育成(研修会の受講や実施)	1	1	1	1	1	2	2	1	2	2	2	2	2	2	1	1	2	1	2	1	1	2	2	2	1. 12区 2. 12区 3. 0区 4. 0区
		4. 相談員と区内の医療・介護関係者との関係構築	1	1	1	1	1	2	2	1	2	2	2	2	2	2	1	1	2	1	2	1	1	2	2	2	1. 11区 2. 13区 3. 0区 4. 0区
		5. その他(オ)に該当すると思われる取組 (具体的に記載)	講演活動(一般企業、薬剤師会生涯研修、病院)	—	—	近隣区を含めた病院や事業所訪問。関連する団体事業所との"連携する会"の定着	—	—	—	—	—	—	訪問介護事業所勉強会、地域ケア会議	隣接する県の病院へ周知活動・研修参加	生活支援コーディネーター、オレンジチーム、地域包括と一緒に取り組んでいる地域診断。	・地域包括の運営会議に参加 ・地域包括開催の地域連携室との情報交換会への参加	—	—	—	病院と在宅の介護サービス業者それぞれにアンケートや聞き取りで状況把握	—	—	—	—	—		